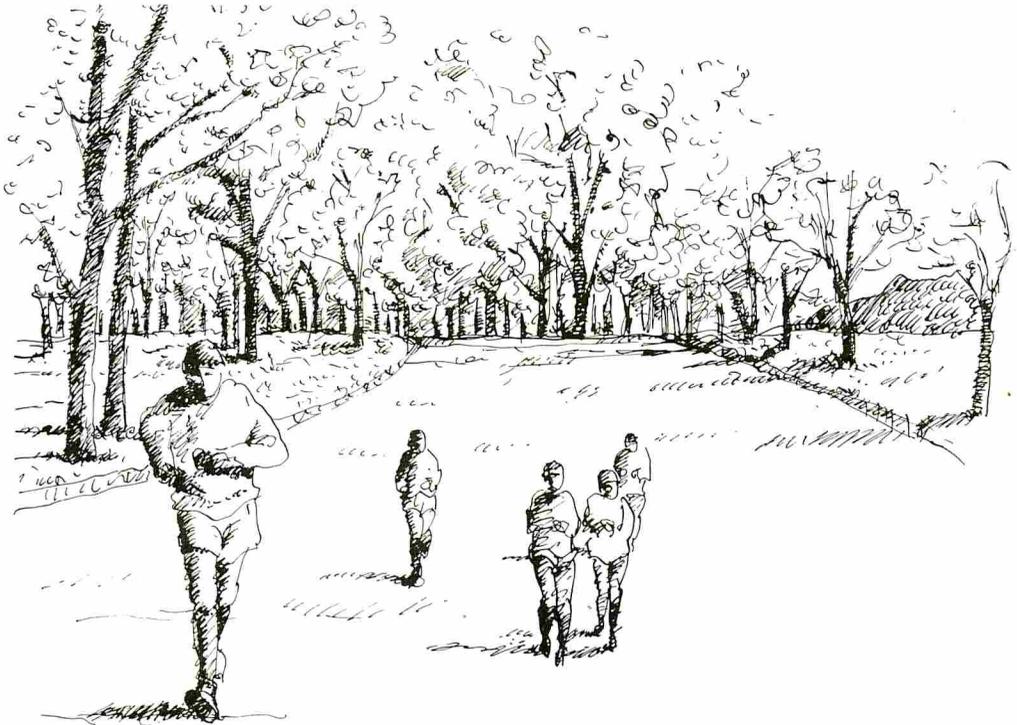


第 2 号

1982. HÖYÜ

朋友



佼成看護専門学校同窓会

台風18号学校を襲う!!



ごとく音をたて流れ込みました。食堂のガラスは破れ、黒い水が地下を浸し一階まであがってゆき、膝の高さまで増水しました。

書類を机の上にあげたり、あの重いコピーの機械をも、二階に運びあげたり、全学生は、被害を最少限にいとめようと全精力を費やしました。

しかし無残にも地下は全滅！天井は破れ、食堂の椅子やテーブル、冷蔵庫、そして、冷暖房の機械も全て浸水により使用不能となりました。電話も不通となり、断水、停電と学校の機能が停止し、授業の継続も不可能となり、学校閉鎖せざるを得なくなりました。

10月1日の開校をめざし、電気、ガス、水道等復旧作業が昼夜進められています。

授業や実習等、三週間の空白をうめるべくカリキュラムの検討がなされ、学生を受け入れる準備も着々と進められています。

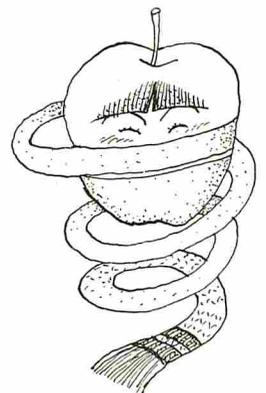
創立14年目にして初めての浸水で、誰もが信じがたい出来事でした。私自身、この目で見ておどろいた次第です。この事件で痛感したことは、同窓生が大勢いてくれたことです。励ましの電話や御見舞いありがとうございました。大変うれしく、心強い思いで一杯です。

9月12日、台風18号は東日本を縦断しました。その影響で神田川があふれ、病院及び学校も浸水し大損害を来しました。
浸水に気づいた時、雑布で戸のすき間を押さえたり、防波堤を築いたりしましたが、前の道は腰までつかる川となり、ドライエリアに向けて滝の

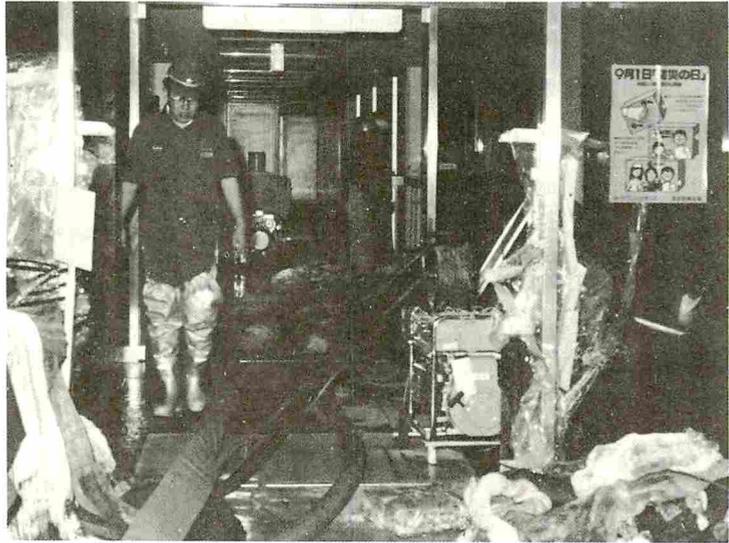
皆様への連絡が遅くなった事もあるかと思いま



す。この場を借りまして報告させていただき、お礼を申しあげると同時に、おわびを申しあげます。10月より予定通り開校し、在校生は、再び学んでいます。
I科1期生 今西潤子



台風18号病院を襲う!!



昭和57年9月12日(日)、台風18号のもたらした豪雨の為、都内の中・小河川が決壊。道路の冠水、民家の床上浸水等の被害をうけた。神田川の近くに位置する当佼成病院も例外ではなく、午後4時すぎには、地上では、大人のそけい部まで達した水が、激しい勢いをおびて地下室を満し、電気、ボイラー室の機能をうばい、コンピューター、C

T等高格機械の集中する地下室への浸水によって午後5時すぎには、停電、断水となった。診療の機能のほとんどが、うばわれた。復旧には、11月末日までという見通しのもとに、家庭に返せる患者は返し、転院をすすめるなどし、収容患者数を最低限とした。

外来は、9月27日まで与薬のみ受けつけ、閉鎖状態におこまれた。が現在は、ほぼ本来の状態に復活している。全職員の協力にて、ほとんどの整理は、受難後約2週間ですみ、現在は、変電所を設け、本来の60%の電力でやりくりしている。しかし本来の機能をとりもどすには、11月末日まで、かかるといわれている。恐いほどに今回の被害は、多額の損害を病院にあたえた。

I科10期生 大倉寿美子



台風被害について 同窓会々々長あいさつ

晩秋の候、会員の皆様には、ますます御健勝の事と存じあげます。

今年は、例年にならない冷夏、あるいは各地での集中豪雨等、自然の猛威の厳しさをみせつけられました。

全国各地での皆様の御健闘をお察し致します。ところで、9月12日の中部、関東地方を通った台風18号を覚えていらつしやいますか。

この時、佼成病院をはじめ我が母校である佼成看護専門学校は、地下浸水の被害にまわれました。現在も、その修復工事がすすめられております。そこで同窓会と致しまして病院、学校に小額ではございますがお見舞い金を贈らせて頂きました。

又、東京近郊にお住まいの同窓生の皆様にボランティアとして、お手伝いの御依頼を致しましたお忙しい中、都合をつけ、惜しみない御協力を頂き、ありがとうございます。紙上をおかりし、御礼を申し上げます。

これからも、さまざまな問題が出てくると思いますが、全員相互の協力と団結により、一つ一つ解決していけるよう、今後共、よろしくお願い申し上げます。

同窓会会長 浜田みどり



広がる「朋友」の輪

同窓会副会長

菱沼義恵

同窓の皆さまには如何がお過ごしですか。1982年は内外情勢を始め、大気の不順等私達をとり巻く環境に何んとなく危惧が感じられます。ともあれ、皆様方の多くは医療や公衆衛生の場で更には家庭と両立されながら、あるいは専業主婦等それぞれに於いて、現役であり続ける努力を日々積み重ねておられます。一見、当り前のことですが、並大抵のことではありません。さて、皆様の中にはニュースで御存知の方もあることでしょうが、我々母校が9月の台風「18号」の被害にみまわれました。学校の裏を流れる普段は穏やかな神田川も台風の猛威で氾濫、その結果、周辺地域、病院など被害をまぬがれず、学校も地下室など浸水、寮生活で御承知と思いますが、建物の心臓部といえるエネルギー部門が壊され、その上文字通り学生のエネルギー源をまかなっていた食堂もストップ。当時、全くの窮地に追い込まれましたが試練を乗り越え、現在は学校の機能も円滑にすすんで

いる様です。皆様のお住いでは台風の被害如何でしたか？遅ればせながら被害にあわれた方々、学生、学校関係者の方々、当時の御苦労、心より御見舞い申し上げます。最近の傾向として人災が恐ろしいと思っていましたが全く「天災は忘れた頃に」のたとえが警告するように、行政の中、小河川の安全対策に万全を期してもらいたいものです。

この度、同窓会誌「第2号」が役員の皆様方の努力と情熱が実り発行されることになりました。私など卒業以来母校を訪れる機会が遠ざかる一方ですが、陽だまりの中、「朋友」の扉を開き看護の初心の頃を思いかえしてみたい気持ちであります。皆様方も御一緒にいかがですか？学校も年を重ねて成長してきました。朋友の輪もそれに連れ大きなものとなっています。80年代は女性の時代といわれています。皆様の御活躍御健康を確信し、同窓会を大きく発展させる様に努力していきたいと思っております。

同窓会副会長 菱沼義恵



生物学実験のことなど

堀内四郎先生

「来週の実験、カエル一人一匹ずつ」というと皆どきんとして、びっくり。さて、本番の日、不安と期待をもつて、カエルのごそごそ音のする容器を教卓において、さて、配給となる。「誰か、つかめる人？」一人二人手があがるが、あとの多数は？、運わるく、捕えそこなったのが、あたりに逃げ廻る。カエルも必死だ、誰かが「先生、カエルはどこで捕ってくるのですか？」「いや、捕ってくるのです。買うのだ」「え？」「東京の街にカエルなどいやしない。動物材料商に注文して持ってきてもらうのだ。せちがらい世の中である。

もなかなか難しくなってきたのは残念である。幸い、本校には、広い実験室に設備もよく整っている。私は授業に実験を取入れることにした。化学の井原先生と相談し、足りないものは融通し合う。ひみつの相互協定がいつしか出来上って今日まで仲良くやってきた。

生物学の勉強は、季節の学問ともいえる。私の頃の生物学（当時は、博物学といっていたが）では、学校の始まる四月は、桜の花、菜の花の観察よりとなっていた。それから、カエルの卵とオタマジャクシ——そして、カエルの解剖、重々しく解剖器を取出す教師の手つきをじっとみつめて緊張したものだ。この頃は、設備の関係か、きめ細かい

自然科学というものは、話をきいたり、本を読んだりするだけでは身につかない。その時は分ったつもりでも、後になってすぐ忘れてしまう。自分の手をよごし、悪臭に閉口し、いや、少しぐらい傷をこしらえても、自分で体験することが大切である。卒業生の皆さんも、実社会に出て、いろいろ経験されたことであろう。

これが、成長であり、発展である。学年末の試験のとき、私は答案の一隅に感想をかいていた。カエルの感激が「一番多い。はじめは逃げ出したかったカエルの無気味さも、我慢して、そして楽しく面白くなってきた。皆さんの御発展を祈る。

(終)

同窓生だよりー病院からー



想うこと
遠藤早智子
II科3期生

最近、成人看護学会出席のため、大阪へ行く機会を得た。二日間開かれた昼の学会にも真面目に出席(出張記録提出もありますから)、夜は歴史と商人の街「大阪」の散策に精を出した。南の難波、北の梅田、御堂筋に道頓堀、法善寺横町と歌の文句や本などで知り、以前から行ってみたいと思っていたところは、大阪城以外行くことができた。学会もオベ室で発表したものがよい反応を得たし、いろいろな収穫もあったが、夜の散策も、歴史に包まれた街を見たり、旧跡に身を置くと、感慨深いものを強く感じ、満足感を与えてくれる。好奇心の強い私の目は、ついつい海外にむき、海は何度か越えたが、大阪ははじめてだった。しかし、二・三日の滞在で身近にも私の好奇心を満たせると再認識させられた。だが、新幹線で現実に残り白衣も着れない。白衣のない周囲には落ちつきがない。「私達には白衣が一番良く似合う」学会報告書を書きながら想うのだった。



日々の観察の中で
橋本 享子
I科9期生

看護婦となって3年目。故郷に帰って2年の間に2つほど病院を変わりました。「一つの所に3年いればなあ」とつくづく思います。しかし就職難・臨時でも働く所があればいい方と思い今、田んぼのドまん中にある療養所の、小児科病棟に勤めております。学生時代小児科実習が恐怖で、もし今度行くなら、子供でも産んで母親の気持ちでもわかるようになったらと思っていたのに、独身のうちに小児科の看護婦になってしまいました。しかし働くうちにその恐怖は、どこかへ行ってしまい、楽しい毎日です。小児慢性疾患や、先天異常をもった子供は、急に悪化するということもあり、日々の観察の中でのごく小さな異常を発見するのが大切です。だから観察の重大性が身にしみます。いろんな疾患をもっても明るく、障害をもっている子供どおし助けあう姿は、本当に感動させられます。そんな子供達に負けないよう、よりよい看護をしなくては、と思う毎日です。



未熟な私が
岩崎 秀子
II科10期生

佼成看護専門学校卒業と同時に、故郷新潟に帰り、脳外科病棟に勤務して、早くも2年が過ぎようとしています。今年6月より、まだまだ未熟な私が、病棟係というような、中間監督者という立場に立たされてしまい、とまどう事ばかりで、病棟を管理するという事など、もちろん出来るはずがありませんでした。しかし、今頃では、開きなりの精神で、自分なりに、自分にしか出来ない事を、コツコツと少しづつ進めて行こうと考えなおして、いくらか心が軽くなったところです。もちろん、まだまだ、この場に甘んじず、たえず進歩していく医学、看護と共に、自分もそうであるが、周りのスタッフと一体になって勉強していかなければ、良いチームワークは生まれませんし、また患者に喜ばれる病院医療も出来ないであろう事を再確認し、これからさらに努力します。

11期生の紹介

同窓会の皆様、(大先輩)、初めまして、私達61名は、昭和57年3月に卒業し、同窓会の会員として、仲間入りさせて頂きました。

約30名が佼成病院に入職し、他3名は地元又は自分の志す病院で、日夜頑張っています。

11期生の特徴と云えば、(勉強はさておき?)学校はじまって以来の、61名という大人数にもかかわらず、今井先生、山崎先生を中心に、一致団結し、体育祭、水泳大会、球技大



会などの行事では、何度となく優勝させて頂きました。教室の後ろの掲示板には数々の表彰状と優勝カップ、たてが誇らしげに飾られていました。この団結力こそが、11期生一人一人の源なのです。

入職して早、6ヵ月ノようやく仕事にも慣れてきました。と云ってもまだまだ未熟者の私達ですが、これからも佼成病院の一職員として、頑張っていきますので、よろしく、お願い致します。

第11回学院記念歌

● 作詞 渡辺久枝
● 作曲 宮沢和子

一、純白の心に

優しさと温かさを

染めあげてみよう

心豊かに

いま旅だつみとりの道へ

二、皓白のこころに

慈しみとあわれみを

染めあげてみよう

心清らに

いま旅だつみとりの道へ

同窓会活動報告

同窓会活動もやっと軌道に乗り左記のような活動をしております。

4月 入学式

会長あいさつ

花束贈呈

5月 定例役員会へ各クラス役員

(第3、第4土曜日 2時)

看護学校会議室

1、顔合せ、新役員紹介

2、予算計画

3、会報の件確認

各クラス毎、交替制で行なう

4、その他年度により必要事項

10月 定例役員会 各クラス役員

1、会報配布及び郵送

2、郵便振替払込書の製作及び郵送

3、その他

11月 戴帽式

会長あいさつ

花束贈呈

3月 卒業式

会長あいさつ

花束贈呈

その他、必要時行なう。

つきましては、各クラス役員を中心に、連絡を密にとりたいと思っておりますので、皆様の御協力をよろしくお願い致します。

学校事務局より

証明書が必要なきは、証明書交付申請書(用紙は事務室に備付)を提出していただくことになっておりますが、遠隔地からの申込みの場合は、返信用封筒に切手の貼付、住所、氏名、郵便番号を記入同封し、必要事項を手紙に書いてお申し込みください。なお成績証明書については、提出先へ直送することになっておりますので、返信用封筒には、提出先の所在地、名称などをお書き下さい。

手数料はつぎの通りです。

卒業証明書 一通につき 二〇〇円

成績証明書 一通につき 五〇〇円

送り先〒166東京都杉並区和田一―三―十四

校成看護専門学校事務係

電話(03)三八四―六一―六一

尚、住所変更、改姓された方は、必ず連絡下さい。郵便でも電話でも結構です。郵便物が時々届き、転送するの困っております。

同窓会会計報告

昨年度より開始しました会費納入（郵便振替口座）も御陰をもちまして徐々に増えつつあります。やっとならぬ同窓会として、世間並に、社会に対して活躍できるようになりましたことは、皆様のお協力のおかげであり心から深く感謝しております。誠にありがとうございました。

しかし残念なことに約半数の方々は、未だ忘れられている存在で、当会計と致しましては多少心を痛めている次第でございます。

つきましてはその方々は年々加算されていきますので御承知おき下さいませ。

今回も『払込通知票』を同封致しましたので、そこに書かれている金額をお近くの郵便局に御支払い下さる様、お願い致します。

また、住所変更、勤務変更、改姓等ございましたら通信欄に御記入下さる様、重ねてお願い致します。

昭和56年度決算収支報告(S56.9-S57.3)

収入の部	支出の部
前年度より繰越金 411,807	経費 333,212
現金 405,214	通信費 93,790
銀行 6,593	会報「朋友」 95,000
同窓会費 555,550	名簿印刷代 20,832
現金 7,072	慶弔見舞金 23,770
銀行 221,036	雑費 10,659
郵便局 407,550	消耗品 24,375
預金利息 1,513	アルバム代 53,406
	委員会準備費 11,380
	次期繰越金 635,658
	現金 7,072
	銀行 221,036
	郵便局 407,550
合計 968,870	合計 968,870

役員名簿

会長：(I-1) 浜田みどり副会長：(II-1) 菱沼義恵
 書記：(I-1) 今西潤子 (I-4) 塚田陽子
 会計：(I-1) 神田恵美子 (I-4) 遠藤裕子

I科	氏名
1期生	今西潤子(日浦) 勝田千代子(吉田)
2期生	篠原夏子(小沢) 荻原実千代(川上)
3期生	鶴園真理子
4期生	遠藤裕子(南野) 塚田陽子(須藤)
5期生	鳥光令子(荒川) 有路江津子(庭野)
6期生	大倉千恵 山田郁代(松岡)
7期生	小島啓子 高倉三千子
8期生	斉藤悦子(小長谷) 坂口隆世
9期生	湯川知世子 石田由美(五十嵐)
10期生	井沢晴美 山内由美子
11期生	石井真由美 堀越佳子
II科	氏名
1期生	小見道子(近藤) 鈴木佳代子(久保)
2期生	矢部美智子
3期生	河合多恵子(清水) 香水好子
4期生	柳沼みち子 鈴木加代子(西川)
5期生	江崎美恵子(阿部) 川名小夜子
6期生	長壁きみえ
7期生	小曾根富美子(小宮) 田地野光江(北川)
8期生	朝妻晴美 山口悦子
9期生	井上幸枝 大森ケイ子
10期生	相田千秋 新井里枝子

※各クラスの役員は、上記の通りです。住所、姓の変更があった場合は、クラスの役員にご連絡下さい。お願いいたします。

●募集!!
 さし絵・原稿を募集していますので、お願い致します。

●PRコーナー
 『看護学校管理論』小野田敏郎著
 A5判/288頁/3,500円
 昭和57年9月25日出版 メチカルフレンド社

編集後記

同窓会誌「朋友」第2号も皆様方の御協力により無事完成することができました。まことに、ありがとうございました。途中台風18号により、校成看護専門学校にも被害がおよび、編集内容にも大巾に、変更が出ました。その為に出来上がりまで、多少時間を要し、遅くなりましたことを、おわび致します。

これからも同窓会誌「朋友」の編集にあたり、皆様方に御協力を御願います。ことも多いと思いますが、ますます素晴らしい「朋友」になるように、同窓会会員の皆様の声を、お聞かせ下さい。(荻原)

〈同窓会事務局〉

〒166東京都杉並区和田一―三―十四

校成看護専門学校

同窓会事務局